

さいたまけんりつとしょかん

埼玉県立図書館だより

～あなたの調べるを応援します～

Saitama Prefectural Library Newsletter



旧埼玉県立図書館「鳳翔閣」

(埼玉県師範学校として建築され、県立図書館としては、大正14年から昭和34年まで使用された。)

埼玉県立図書館 創立 100 周年



あれから、百年

埼玉県立図書館百周年記念資料展

大正11年10月、北足立郡工区員出張所跡に開設された県教育会立埼玉図書館。これが埼玉県立図書館の歴史の始まりです。

県民の皆様とともに歩み続け、令和4年、埼玉県立図書館は百周年を迎えました。これを記念して、今までの歩みを振り返る「あれから、百年 埼玉県立図書館百周年記念資料展」は、巡回展示・パネル展示・文書館との共催展示の3部構成として、県内各地で開催しました。

時間をかけて準備を行った大規模な資料展は、県民の皆様とともに県立図書館の歴史をたどる貴重な機会となりました。



資料展ウェブサイトはこちら▶
展示に使用した資料リストなどを掲載しています

◀ 書庫に保管されている館史資料や物品を調査、創立以来の展示にふさわしいものを選んで構成を決定しました。



▲登録第1号は百科事典



▲記録写真のアルバム



▲大正から昭和の日誌

巡回展示（熊谷図書館・久喜図書館）



▲【熊谷図書館】
日時：令和4年10月8日(土)～11月6日(日)
場所：2階ロビー

熊谷図書館と久喜図書館で開催された巡回展示では、終戦後、GHQが県に無償貸与し、各地で出張上映に使われた16ミリ映写機 Natco（ナトコ）の実物や、開館当時の記念グッズなど、今では貴重なものを数多く展示しました。

作製したキャプションやパネルの枚数は**108枚**にも及びました！

16ミリ映写機 Natco（ナトコ） ▼

移動図書館車「むさしの号」ナンバープレート ▼



▲【久喜図書館】
日時：令和4年11月12日(土)～12月18日(日)
場所：2階公開図書室

久喜図書館の巡回展示は「第24回図書館総合展 2022 ONLINE_plus」のサテライト会場にもなりました。

より良い資料展になるよう準備を行いました。

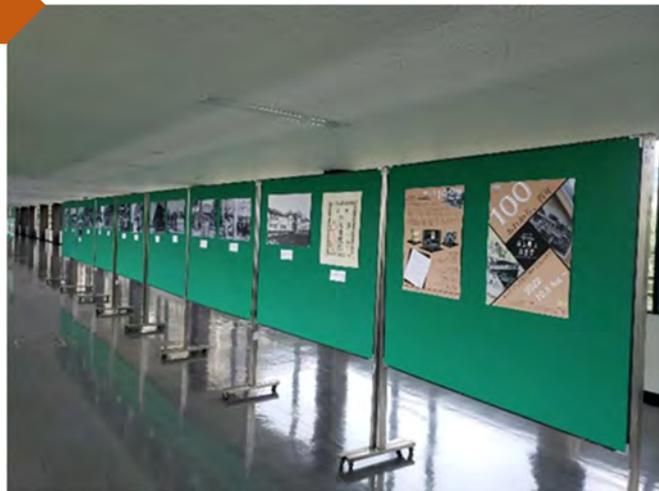
準備風景



パネル展示（県庁舎）

県庁舎で開催したパネル展示では、往時を感じる写真31枚を展示しました。

浦和書籍館（県立図書館の前身）や浦和・熊谷・川越・久喜に4館設置されていた当時の図書館の外観、映画のロケにも使われた浦和図書館のレトロな館内、ボンネット型の移動図書館車など、目で見て楽しめる展示を心掛けました。



▲【県庁舎】

日時：令和4年10月12日(水)～11月4日(金)

場所：本庁舎・第二庁舎間3階連絡通路



▲浦和書籍館
閲覧券第一号
(明治10年)



▲混み合う
浦和図書館
(昭和35年頃)



▲川越図書館
外観
(平成10年頃)

共催展示（文書館）



文書館のマスコット
キャラクターもんじろうが
お出迎え！



▲【文書館】

日時：令和4年12月13日(火)～令和5年2月12日(日)

場所：1階常設展示室・1階展示室前廊下

図書館と文書館との関わりを知るといテーマで文書館との協働により展示を行いました。かつて、文書館は図書館内で運営されていました。

常設展示室には、県立図書館文書館増築工事の契約書や、当時の図書館長によって書かれた文書館の表札など、文書館収蔵史料を3点展示。文書館収蔵史料の選定や展示ケース内のキャプションは、文書館の学芸員が作製しました。

1階廊下には、文書館が収蔵する戦後報道写真より移動図書館車「むさしの号」をはじめ、当時の様子を偲ばせる写真を展示。長く楽しんでいただけるよう、展示期間中に、写真を数点入れ替えました。

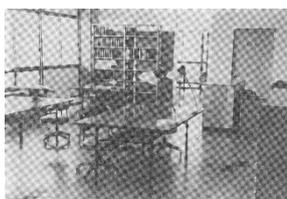


当時の図書館長によって
書かれた文書館の表札。
側面には署名が！

文書館閲覧室 ▶



▲埼玉県立図書館内文書館



これから、百年

この資料展の開催は、新たな百年への1歩を踏み出す機会となりました。これからも県民の皆様へのニーズに応え、主体的な活動を支援する図書館として、日々進化を続けていきます。

「これから、百年」の埼玉県立図書館に、是非ご期待ください。

『HIRAGANA TIMES ひらがなタイムズ』

日本で暮らす外国出身者のための図書館資料と聞いて、日本語学習資料を思い浮かべる方はどれだけのいるだろう。恥ずかしながら、私は海外資料担当になるまでその存在を知らなかった。今回紹介するのは、そんな資料のひとつ、雑誌『HIRAGANA TIMES ひらがなタイムズ』だ。

本誌は、日本文化や日本語学習に関する記事が掲載されている日英併記の月刊誌だ。本文は英語と日本語が段落ごとに交互で書かれていて、漢字にはふりがながふってあり、日本語に不慣れな方にも読みやすい。日本の伝統文化の紹介や、日本で活躍する外国出身者のインタビューなどが掲載されている。想定されている読者は日本語を学習する英語話者だが、日本語話者が読んでも面白い記事ばかりだ。

例えば、「新語・流行語」というコーナーでは、日本で流行りの言葉を毎月2つずつ紹介している。これまでに紹介された言葉は、「沼る(ぬまる)」「異世界転生」などなど。日本語で説明するのでさえ難しい言葉だが、英語でどう説明されているのか。日本語話者の英語学習にも役立つだろう。

また、日本文化の紹介では、伝統文化だけでなく新しい文化についてもふれられており、最近の流行りや若手アーティストを知るきっかけになった。全国で開催される展覧会やイベントの情報も興味をひかれる。日本についての知識や日本語の学習にはもちろんのこと、自由に活用してほしい。

(紹介者 海外資料担当 浅川)



HIRAGANA TIMES
ひらがなタイムズ
株式会社ひらがなタイムズ
(所蔵館 熊谷図書館)

司書がおすすめる、埼玉県立図書館所蔵の本や雑誌、CDなどをご紹介します。

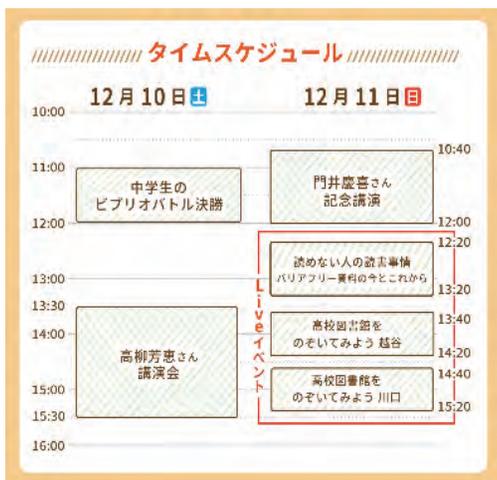
図書館と県民のつどい埼玉 2022 — みんなが図書館でつながる日 —



「図書館と県民のつどい埼玉」は、県内の様々な図書館が協力し開催する**県内最大級の図書館イベント**です。

本に興味を持っていただきたい、図書館について知っていただきたい、という思いで平成19年度から始めました。

16回目となった今回は、昨年度に引き続きオンラインでの開催としました。県内図書館の様々な活動について、WEB上の展示、司書のLive配信により御紹介をしました。



Live配信 令和4年12月10日(土)、11日(日)
後日配信 令和5年1月31日(火)まで

配信

- ◆ 作家 門井慶喜さん記念講演
- ◆ 絵本作家、サイエンスライター 高柳芳恵さん講演会
- ◆ 中学生のビブリオバトル決勝
- ◆ 司書が語る!Liveイベント
- ◆ 司書が魅せる!WEB展示



Liveイベント合計視聴者数401名、後日配信795名、WEB展示(閲覧ユーザー数)347名、合計1,543名の方に御参加をいただきました。



詳しくは、ウェブサイトをご覧ください。

図書館と県民のつどい埼玉 検索

